

議題21

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案    ( . . . 第 回総会 ; 市)		
種類	<input type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input checked="" type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他 ( )	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input type="checkbox"/> 国	担当省庁	
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局課室	林務部 鳥獣対策室
	<input type="checkbox"/> その他	名 称	
件名	ツキノワグマの捕獲対策と支援の拡充について		
提案市	東御市		
提案要旨	<p>最近、生活圏でのツキノワグマの目撃が増加しているとともに、指定管理鳥獣の捕獲頭数の増加と比例して、ツキノワグマの錯誤捕獲も多発している。</p> <p>このため、錯誤捕獲の個体であっても放獣の原則を見直し、捕殺できるようツキノワグマの捕獲強化を要望するとともに、県のツキノワグマの学習放獣に対する補助金の増額を強く要望する。</p>		
提案理由	<p>ツキノワグマの出没増加に伴い、錯誤捕獲により放獣となる個体が増加しており、これらにかかる費用も増えていることから、学習放獣に対する補助額の拡充が必要である。また、錯誤捕獲された個体の捕獲場所や捕獲履歴などを基準として、放獣でなく捕殺できる適用範囲の拡大も必要と考える。</p>		
現況及び課題等	<p>農業被害の相談や報告が増えるとともに、営農意欲が減退し、耕作放棄や離農につながるケースが多くなってきている。また、生活圏域での大型獣の目撃が増加し、安全・安心な日常生活を脅かしている。</p> <p>ツキノワグマの捕獲頭数も増加傾向にあり、令和5年度は過去最多の40頭が捕獲され、このうち、32頭が錯誤捕獲であった。捕獲された個体は、過去に近隣自治体が学習放獣した個体で、元の住処に戻れずにいるところを捕獲されるものが少なくない。学習放獣の対応についても、捕獲数の増加から経費の負担が非常に大きいうえ、十分な財政支援が受けられていない。</p> <p>昨今のツキノワグマの出没件数を考慮し、適正な生息数の管理に基づく学習放獣の在り方や支援の拡充を図ることが必要である。</p>		
関係法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		